

# 平成16年度 事業報告書

平成16年度	事業報告
同	収支計算書
同	貸借対照表
同	正味財産増減計算書
同	総括表
同	財産目録
同	専門部会収支報告書
同	計算書類に対する注記
平成17年度	事業計画
同	収支予算書
平成16年度	監査報告
平成16年度	役員および委員等

社団法人 日本油化学会

## 平成 16 年度事業報告

### 1 会員状況

#### 1.1 法人会員および団体会員

級 種	平成 16 年度末	平成 15 年度末	増 減
1 級	13 社	13 社	0 社
2 級	7 社	8 社	- 1 社
3 級	20 社	18 社	+ 2 社
4 級	30 社	26 社	+ 4 社
5 級	84 社	90 社	- 6 社
計	154 社	155 社	- 1 社

#### 1.2 個人会員

種 別	平成 16 年度末	平成 15 年度末	増 減
普通会員	1608 名	1686 名	- 78 名
学生会員	91 名	82 名	+ 9 名
計	1699 名	1768 名	- 69 名

#### 1.3 名誉会員 ( 16 名 )

阿河 利男 阿部 芳郎 大城 芳樹 荻野 圭三 金田 尚志 北原 文雄 櫻井 洸  
佐々木恒孝 高木 徹 常盤 文克 豊口 満 橋本哲太郎 早野 茂夫 松本 太郎  
森 昭 渡辺昭一郎

#### 1.4 会員数の推移 ( 個人・法人 )

## 2 会務

### 2.1 総会

第 50 回通常総会を、平成 16 年 3 月 31 日、油脂工業会館で開催した。委任状出席を含めて 107 名の代議員の出席を得て議案を審議した。15 年度事業報告および収支報告、16 年度事業計画、平成 16 年度役員を選任および名誉会員の推戴等が審議され、いずれも原案通り承認・可決された。

ひきつづき、表彰式が行われ、つぎの各氏が表彰された。

名誉会員に常盤文克氏が推戴された。

日本油化学会功績賞が元昭和シェル石油(株)藤田 稔氏に贈呈された。

平成 15 年度日本油化学会賞および進歩賞が次の各氏に贈呈された。

- ・学会賞 明星大学理工学部 日高久夫氏
- ・進歩賞 東京理科大学理工学部 酒井秀樹氏

つづいて、講演(演題:企業における研究開発 森 昭 名誉会員)が行われた。総会に関するすべての行事が終了した後、懇親会がルビーホールで開催され、70 余名が出席した。

### 2.2 理事会

定例理事会は 5 回開催し、平成 15 年度一般会計・特別会計決算案および平成 16 年度同予算案、平成 16 年度会長、副会長および常務理事の選任、運営委員、各業務委員長、各専門部会長、各支部長等の選任、日本油化学会名誉会員および日本油化学会功績賞ならびに日本油化学会賞等の選考、次々年度年会開催地の決定および実行委員長の選任等、重要案件について審議し、決定した。

出席理事 延 67 名、委任状提出理事 延 18 名、出席監事 延 6 名

### 2.3 運営委員会および業務委員会等開催状況

運営委員会 6 回、運営会議 1 回、名誉会員・元会長との運営懇談会 1 回 をそれぞれ開催した。

業務委員会等の開催数は次のとおりである。

総務、定款細則改訂委員会	6 回	役員等候補者推薦委員会	2 回
財務委員会	1 回	学会賞選考委員会	2 回
企画・部会統括委員会	4 回	功績賞推薦委員会	2 回
企画・部会統括委員会全体会議	2 回	規格試験法委員会(含小委員会)	12 回
企画・部会統括委員会WG	2 回	若手の会委員会	2 回
編集委員会	7 回	ILSI 共催シンポ実行委員会	5 回
JOCS/MPOB・JS 実行委員会	1 回	定款変更検討チーム	2 回
教本編集委員会(油脂)	5 回	教本編集委員会(界面)	3 回

総務委員会は、会員の意識をアンケート調査し会員名簿の仕様、油脂工業会館研究奨励金制度に関する選考方法等について検討した。定款・細則改訂委員会は、諸規程の改定および会長選挙に関する内規の制定を行った。ホームページ委員会が設立され、本会の広報と会員への情報提供としてのホームページを目指している。企画・部会統括委員会は、専門部会の新体制による活動の推進、本部企画事業の推進およびワーキンググループによる新規事業の企画等を中心に活動した。規格試験法委員会は、本年度も基準油脂分析試験法セミナーを行ったが毎年開催が定着したように思われる。重合物小委員会は、本年度で検討を終え、その成果を年会で発表した。ひきつづき新規試験法に制定すべく準備を進めている。マスターズクラブは関西地区が発足し、3 支部中心の活動基盤ができた。

### 3 事業報告

#### 3.1 本部事業報告

(1) 本部主催のセミナーは、企画・部会統括委員会を中心に企画・実行され、昨年と同様下記の5件を行った。参加者数は延346名であった。

フレッシュマンセミナー(油脂)，フレッシュマンセミナー(界面)，基準油脂分析試験法セミナー- 界面アドバンスセミナー，界面活性剤評価・試験法セミナー

(2) 日本油化学会の編纂による教本を出版するため、編集委員会を編成して準備をすすめ、「油脂・脂質の基礎と応用」および「界面と界面活性剤」を発行することになった。

#### 3.2 支部活動報告

(1) 支部委員会等の開催

- ・関東支部 常任幹事会3，幹事会1，特別会議1，事業企画委員会3
- ・東海支部 常任幹事会4，支部役員会1，支部三役会議1，その他委員会1
- ・関西支部 常任幹事会5，幹事会3

(2) 支部による講演会，セミナー等の行事開催

支部による講演会，セミナー，交流会等の行事は、延13回開催し、参加者数は延957名を数えた。ご出講いただいた講師の先生方は延58名であった。

- ・関東支部 開催回数 5回 参加者数 366名
- ・東海支部 開催回数 3回 参加者数 163名
- ・関西支部 開催回数 5回 参加者数 263名

#### 3.3 専門部会，若手の会，マスターズクラブ活動報告

講演会，セミナー，談話会等の行事は、延23回開催し、参加者数は延897名を数えた。ご出講いただいた講師の先生方は延54名であった。

- ・専門部会 開催回数 17回 参加者数 732名
- ・若手の会 開催回数 2回 参加者数 104名
- ・マスターズクラブ 開催回数 6回 参加者数 121名

#### 3.4 日本油化学会誌発行状況

(1) 「Journal of Oleo Science」誌 第53巻 第1号～12号 総ページ数 784ページ  
オリジナル論文中心の英文学術雑誌として発行した。2004年の英文化率は78%であった。

掲載内容	報文・ノート・速報	英文 66件	454ページ
		邦文 15件	126ページ

(2) 「オレオサイエンス」誌 第4巻 第1号～12号 総ページ数 882ページ  
学術的啓発と情報を中心とした情報誌として発行した。

掲載内容	総合論文・総説・入門講座	23件	197ページ
	研究文献抄録	322件	74ページ
	国際油脂情報	298件	71ページ
	会務・会告等		245ページ
	広告	104件	67ページ

なお、平成17年1月号から両誌ともに表紙デザインを一新した。

### 3.5 第43回日本油化学会年会

関西支部の協力のもとに、小松満男実行委員長を中心に実行委員会を組織して、準備、開催した。本年会では、受賞講演2件のほか、多数の一般発表が行われただけでなく、昨年からはまったイングリッシュセッション、専門部会主催のシンポジウム、ランチョンセミナーなどが開催された。本年会は、JOCS-MPOB ジョイントシンポジウムが併催されたことが大きな特色であり、年会参加者数、発表件数ともに過去最大となり、盛況裡に終えることができた。ヤングフェロー賞は、井村知弘、太田明雄、由井樹人の3氏を選考し、エディター賞、オレオサイエンス賞等の受賞者とともに表彰した。

期 日：平成16年11月1日(月) - 3日(水)

会 場：大阪大学コンベンションセンター、銀杏会館

内 容：

参加者総数	5 1 1 名
講演件数	2 3 5 件
・受賞講演	2 件
・一般講演	1 3 4 件
・ポスター発表	5 7 件
・イングリッシュセッション (招待講演)	1 件
・ (口頭発表)	7 件
・ (ポスター発表)	4 件
・専門部会シンポジウム	5 件
・専門部会ランチョンセミナー	5 件
・若手の会講演	1 件
・油脂工業会館油脂優秀論文賞受賞講演	8 件
・JOCS-MPOB ジョイントシンポジウム	1 1 件 (うち招待4件)

懇親会日時：平成16年11月1日(月) 18時半 -

会場：ホテル阪急エキスポパーク

参加者：2 1 1 名 (招待者を含む)

#### 第13回JOCSオイルカップスポーツ大会

- ・エキスカッション(山崎周辺 油座の跡を訪ねて) 参加者10名
- ・テニス: Big Box 屋内テニスコート 参加者19名
- ・ボウリング: Big Box ボウリング場 参加者24名

### 3.6 JOCS-AOCS ジョイント・シンポジウム JS2004 (Joint Symposium on Biosciences)

和田 俊実行委員長のもとに準備が進められ、2004年5月10日、オハイオ州シンシナティ市で(AOCSの年会)開催された。設定された10のセッションにおける日本人の発表件数102件、参加者151名であった。JOCSが主催した親睦の夕べ“Japan Night”も300席が満席となり盛況であった。

### 3.7 JOCS-MPOB ジョイント・シンポジウム (マレーシアパームオイル協議会)

二木鋭雄実行委員長のもとに準備が進められ、2004年11月10日、大阪大学コンベンションセンター(年会)で開催され、記念品の交換等のセレモニーののち11件の発表があり、参加者は最大140名であった。なお、MPOBからの発表は、Y. Basiron 所長をはじめとする5件であった。